

中富記念くすり博物館だより



2023年8月1日発行 No. 333

帰ってきた!

夏休み体験教室

「薬研をつかってカレースパイス作り！」

2019年に開催し大好評だった体験型イベントが復活!

スパイスの薬用効果を学び、昔のくすり作りの道具を使って手作りのカレー粉を作ります。

日時：8月4.5.6日 全5回

※事前予約制、申込は終了しています

8・9月イベント情報

マイ健康茶作りミニ体験

佐賀県伊万里市の「くすきの杜」から講師をお招きし、生薬を使って「マイ健康茶作りミニ体験」を行います。

日時：8月20日 10時～16時
事前申し込みは不要です。



夏休みワンパク教室

「香り袋キーホルダーを作ろう！」

鳥栖市立図書館で行われている小学生を対象とした体験型の教室です。

昔のくすり作りの道具「薬研」を使って「香り袋キーホルダー作り」を行います。

日時：8月18日 14時～15時

申込は鳥栖市立図書館まで♪



企画展

「見えないものを見ようとして -顕微鏡が見つけた病-」

17世紀に自作の顕微鏡で歴史上はじめて微生物を目にしたレーヴェンフック。彼の発見はのちに微生物学という花を咲かせ、その恩恵により多くの命が救われるようになりました。本展ではその立役者である顕微鏡と顕微鏡が発見した病について紹介します。

開催期間：9月23日～2024年2月12日



↓イベント詳細はこちらから↓



公式HP

Instagram

facebook

LINE@

薬草美術館 絵画の中の植物をご紹介します

この作品はアール・ヌーヴォーを代表するチェコの画家アルフォンス・ミュシャが描いた古代アテネが舞台の演劇『ジスモンダ』の広告用ポスターです。

1894年の12月。印刷所へ19世紀フランスの大女優サラ・ベルナールから芝居のポスターの注文が入りました。

しかしデザイナーたちが出払っており、年明けからの公演に間に合わせたいという急ぎの要望により、まだ無名のミュシャがその注文に応えることになりました。そして元日、パリの街に貼りだされたこの広告は人々の目を引き大評判になり、このデザインをとて気に入ったサラも、以後次々と仕事を依頼するようになります。

王妃ジスモンダに扮した堂々たるサラが手にするのはシュロ（ナツメヤシ）の葉。シュロは古来より「勝利と栄光」を表すシンボルとして絵画に登場してきました。

《ジスモンダ》はミュシャの出世作となり、一気にデザイナー界のトップへと昇りつめます。

すべてはこの植物が招いた幸運なのかもしれません。



アルフォンス・ミュシャ

《ジスモンダ》アルベルティーナ美術館（オーストリア）、1894年

ガリバーフレーム 税込：2,970円

「自由研究」にきっと役に立つ商品を紹介☆
「ガリバーフレーム」は横幅7cm×奥行き2cm×高さ12.5cmの拡大鏡で、丸みを帯びた形状ですが縦横好きな向きに置くことができます。

重さは35gと軽量で、フレームの穴に紐を通すと首からぶら下げて持ち歩くことも可能♪

虫眼鏡として植物や虫を観察したり、ルーペとして新聞や説明書などの小さな文字を読むときに使えます♪

本来はミニチュアの前に置くと拡大して飾れるという商品ですが、使い方はその人次第!

万能なガリバーフレーム、一家に一ついかがでしょうか♪

